

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	2Fの利用者様が帰宅願望が強く日に何度もエレベーターで1Fに降りる。今のところは、玄関で、ご自分の靴箱に靴が入っていないのを見て、「靴が無い」とおっしゃる。スタッフが「ご自分のお部屋にあるかしら」と言うと2Fに上がり、居室を探す。気がまぎれる。・・・この繰り返しが続く	帰宅願望が減り、1Fへ降りる回数が減る。2Fでの生活が楽しくて、1Fへ降りる必要が無いと感じていただくケアを目標としたい	好きなオセロゲームの相手をしたり、「かるたとり」や「ジグソーパズル」など、夢中になれる時間を作り、一緒に楽しむ。この頃は、他の利用者様と一緒にかるたとりをされるようになり、この支援もしていきたい。また、1Fへ降りる時は用事や仕事を作り、スタッフと共に、生活リハビリの一環としてできたらと思う。	2 か月
2	4	「地域密着運営推進会議」が現状3か月に1回の開催となっている。家族様の参加が少ない。	2か月に1回の開催を目指す。また、地域との交流をはかりたい。	現状、3か月に1度の開催日には、地域の方向けに「健康教室」「栄養教室」「地域交流会」などの日に開催をしている。そこへ、春、秋の消防訓練や、避難訓練開催日に地域の方にも参加していただき、運営推進会議もしたい。また、月に1度の相談員さん来所の機会もとらえ、開催したい。家族様の参加をお願いするには、現状1ヶ月に1度のさつき便りの他に利用者様の現状報告やアンケートなどを行うなど家族様との交流を密にする。	1 か月
3	2	災害時対策・・・近隣の集落からは畑や道路、工場などで、隔てられている。有事の時に助けてもらう、また反対に高齢者の方々に、避難場所として利用していただくなど、地域交流に努めたい	有事のときには、高齢者の方々の一時避難所となれるよう、地域の自治会や行政にも働きかけたい	地域密着運営推進会議の場や、地元の2自治会の老人会会合にも、出張講演、出張健康教室などを通じて、交流を深めたい。また、2自治会から、他に近隣自治会2～4自治会にも健康教室、栄養教室などの案内を広げていきたい	3 か月

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
4	11	運営に関する職員の意見を反映する	スタッフのモチベーションを高め、築き上げる 思いを共有する。	常日頃からスタッフとの会話やコミュニケーションにつとめ、率直な意見や考えを引き出す。 また、上司とのパイプ役として常日頃から「報、連、相」につとめるとともに、月に1度の本社会議などを利用してスタッフの意見を反映する。	1 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。